



令和3年
(2021年)

4月号
No. 571



池ノ谷春子さん宅のお庭(個人の部 最優秀賞)



公式LINE@で情報発信中♪
災害・防災情報も! 左のQR
コードから登録しよう!



城原区事務所(区事務所部門 最優秀賞)

花の村づくり美化コンクール最優秀賞受賞!

今月の主な内容

- 令和3年当眞村長施政方針.....P.2~15
- 宜野座村オープンガーデン.....P.16
- キラリ☆ぎの座認定など.....P.17
- 健康づくりなど.....P.18
- 受賞報告など.....P.19
- 退職者辞令交付式など.....P.20
- 人事異動など.....P.21
- 村長動向など.....P.22
- お知らせ.....P.23~24
- ぎのざ暦.....P.25
- 村内小学校卒業式など.....P.26

人口のうごき

令和3年3月末現在

総人口 6,213人(-10)
男 3,124人(-1)
女 3,089人(-9)
世帯数 2,626世帯(+9)

(各区分人口) 松田 1,618人(-23)
宜野座 1,281人(+15)
転入 52人 惣慶 1,511人(±0)
転出 64人 福山 278人(-3)
出生 7人 漢那 1,236人(+2)
死亡 4人 城原 289人(-1)

※()内は前月比 ※外国人を含む
※惣慶区は、でいご園(65)を含む

令和3年度 施政方針

村民福祉の向上及び更なる発展のために日々全力つくす

當眞淳村長は、第二回三月定例会で、令和3年度の村政運営の基本となる施政方針演説を行い、これまで同様「住民の目線」を基本スタンスとして村政運営に取り組んでいくことを表明しました。

令和3年度の当初予算は71億9千2百万円、昨年度比3.6パーセントの減となっています。

當眞村長の施政方針を掲載します。（※太字は今年度の新たな取り組みです）

1. はじめに

新年度に臨む私の所信の一端と村政の基本的方針について申し上げます。

私は平成24年12月の村長就任以来「子どもたちの瞳が輝き、村民の笑顔あふれる村づくり」を基軸に「住民の目線」を大事にしながら村政運営に取り組んできました。昨年末の村長選挙におきましては、多くの村民の皆様のご支援を賜り、三期目となる村政の舵取り役という重要な職責を、引き続き担わせて頂くこととなりました。村民の皆様にお約束した公約の実現にむけて全力で取り組んで参ります。

さて、昨年、国から脱炭素化及びデジタル化を強力に推進する方針が出されました。本村においても庁舎電気設備改修などのCO₂削減や電子自治体に向けた取り組みを実施しておりますが、今後とも国や関係機関の情報に注視しながら、積極的に対

応して参ります。

沖縄県との関わりとして、昨年度は本村における県立農業大学の整備や、北部12市町村との北部基幹病院の整備について、着実に協議を進めてきました。今年度もスムーズな事業実施に向けて引き続き協議を重ねて参ります。

昨年は新型コロナウイルス感染症が世界中を席捲し、人々の暮らしを一変させ、我が国においても観光振興による地方創生への取り組みに水を差す結果となりました。特に観光立県を掲げる沖縄県では、裾野の広い観光産業の停滞が県内景気全般に暗い影を落としています。

本村においても、近年は道の駅「ぎのざ」などへの国内外からの観光客の増加、ホテルの建設や新規コンビニエンスストアのオープンなどの民間投資の増加という好循環の流れが出来つつある中で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、本村経済にも大きな打撃となりました。併せて、村や地域における各種事業が軒並み中止となり、住

民の暮らしにも多大なる影響を及ぼす事になりました。

昨年度は新型コロナウイルス感染症に対する各種支援事業を実施してきましたが、今年度もワクチン接種などの新たな事業も含めて、村民の暮らしと健康を守りながら、地域経済をしっかりと支える為の感染防止及び事業所支援等の対策を引き続き、講じて参ります。

その他にも、本村では、米軍基地問題や赤土流出問題、老朽化施設の更新や維持管理など、大変厳しい行政課題を抱えておりますが、先輩方が築いてきた「水と緑と太陽の里 宜野座村」の持続可能な発展に向けて、諸問題解決の為に、村民の皆様とも意見交換を重ね、職員一丸となって、活力ある宜野座村づくりに邁進していく所存でございますので、議員各位をはじめ、村民の皆様のご理解とご協力をお願い致します。



2. 令和3年度予算概要について

令和3年度予算編成においては、沖縄振興特別推進市町村交付金が県全体で減額されたことに加え、昨年度から始まった会計年度任用職員制度が本格的に運用されるなど村財政は厳しさを増しており、一部基金を取り崩して対応しております。このような現状を認識し、限られた財源で、最大の効果を上げるよう事業の必要性、効率性等を念頭に置き、各種事業を推進して参ります。

予算額につきましては、一般会計予算で71億9千2百万円、昨年度比3.6パーセントの減となっております。

また、特別会計予算は、国民健康保険事業特別会計

後期高齢者医療特別会計 七億九千四十三万三千円

下水道事業特別会計 五千七百六十七万八千円

二億二千七百七十八万円

水道事業会計は、

収益的収入及び支出

収入 二億七千三十八万三千円

支出 二億四千九百三十三万七千円

資本的収入及び支出

収入 二億四千五百四十八千円

支出 三億千七百十八万五千円

となっております。

歳入の面では、主なものとして、自主財源の柱であります村税が約6億1千万円、地方交付税が約14億5千ひなまつり9百万円、財産収入が約20億6千7百万円であります。

一方、歳出の方では、主な事業として沖縄振興特別推進市町村交付金事業による村着地型観光誘客推進事業、沖縄振興公共投資交付金事業による農村整備事業機能強化対策（宜野座地区、松田地区）、団体営農業基盤整備促進事業（松田地区）、防衛省関係では、調整交付金基金事業による学校給食事業として学校給食費の無償化、再編交付金基金事業による人材育成事業として、村営学習塾の運営及び学校ICT推進によるタブレット端末の活用事業等であります。

諸事業の実施につきましては、各種補助事業等を有効的に活用し、村民にとって有益となる事業を選択して取り組んで参ります。

また、本村が支出する経常的な経費や施設などの維持管理費、各種補助金等は、随時見直しを進めることとし、無駄のない行政運営、財政健全化に努めて参ります。

3. 子ども達の笑顔が

あふれる村づくり

子育て支援については、昨年度策定した第2期子ども・子育て支援事業計画に基づき、幼児教

育・保育ニーズへ対応して参ります。

また、今年度より小中学校における給食費を無償とし、子育て支援の更なる充実を図って参ります。

保育施設における新型コロナウイルス感染症対策については、手指消毒や換気などの感染防止対策を徹底するとともに、保育所（園）・放課後児童クラブ従事者の定期PCR検査を実施し、感染拡大防止に努めて参ります。

子育て環境の充実については、本年度も引き続き、認可保育園と協議し、待機児童解消に向けて取り組んで参ります。保育士確保対策として、就職準備金の貸し付けを引き続き、実施して参ります。

また、昨年度、

宜野座村認定こ

ども園設置準備

検討委員会を設置しました。今年度も引き続き、健康福祉課及び教育課が連携し、本村の幼児教育・保育ニーズに対応した公立認定こども園の設置に



ひなまつり

むけて調査・検討し、幼保一元化を目指して参ります。

放課後児童クラブ施設については、引き続き、地域のニーズにあつた放課後児童クラブ運営を推進するため、支援員に対する資質向上を目的とした研修や保護者などへの相談事業を実施し、放課後児童健全育成補助事業の充実を図つて参ります。

また、昨年度に引き続き、県の公的施設移行等促進事業を活用して宜野座区放課後児童クラブ施設整備建築工事を実施し、令和4年4月開所に向けて取り組んで参ります。

子どもの貧困対策については、国の「子どもの貧困緊急対策事業」を継続実施し、貧困対策支援員の配置や、子どもの居場所づくりの運営を支援して参ります。

保護者への経済支援として、児童生徒への学用品費等の就学援助支援を継続して実施して参ります。また、村育英会により開始されました入学支援金制度の運用について継続実施して参ります。

子どもの虐待防止対策については、引き続き、国の「児童虐待・DV対策等総合支援事業」を活用し、相談員を配置するとともに、要保護児童対策地域協議会の構成機関及び児童相談所との連携を図り、子どもの安全を最優先に虐待の予防と早

期発見、早期対応に努めて参ります。

母子保健事業については、母子保健対策の新規事業として、産婦健診及び産後ケア事業を新たに設け、産婦の支援強化に努めて参ります。

また、子ども医療費及び母子父子医療費の助成、特定不妊治療並びに一般不妊治療費の一部助成を引き続き実施して参ります。その中で、子ども医療費助成における中学生までの医療費については、医療機関での自己負担無料化（現物給付）の実施に向けて取り組み、これまで以上に、安心して子どもを生み育てやすい環境づくりに努めて参ります。

教育に対する意識の啓発については、令和元年度に制定した

「教育の日」の取り組みを充実させ、教育に対する村民の関心と理解を一層深めるとともに、家庭、学校及び地域社会の連携の下に、村民全体で本村の教育の充実及び発展を図つて参ります。



令和2年度「宜野座村教育の日」式典

令和2年度「宜野座村教育の日」式典

す。

村立3幼稚園における預かり保育については、引き続き、午後6時30分まで行うとともに長期預かり利用者の保育料を無償化することにより、昨年度に引き続き、共働きやひとり親世帯の子育て支援の充実を図つて参ります。

義務教育の充実については、各小中学校の実態に応じ、学習支援員を配置し、教師と連携を取りながら指導体制や指導方法の改善充実を図り、確かな学力の定着と向上を目指して参ります。

また、ICT

を活用した教育の推進のためのGIGAスクール事業においては、昨年度、導入したタブレット端末を有効活用するとともに、各家庭の通信環境に左右されずにタブレットが使用できる環境を確保し、誰一人として取り残さない学習環境づくりに取り組んで参ります。

更に、小中学校において増加傾向にある不登校



タブレットを活用した授業

の改善が喫緊の課題となっていたことから、引き続き、スクールソーシャルワーカーを配置し、問題を抱える児童生徒の支援を行い、未然防止、早期発見、早期対応に取り組んで参ります。

特別支援教育の充実については、臨床心理士を派遣し、幼児・児童生徒の観察や心理検査等を基に、面談や相談活動を行うことにより、幼児・児童生徒・保護者・教職員を支援して参ります。また、子ども達の困り感に合わせて、引き続き、特別支援サポーターを配置して参ります。

村営学習塾「21世紀みらい」については、毎年、国公立大学の合格者を輩出しており、成果が上がりつつあります。今年度も中学生の全学年を2クラス設置し、可能な限り塾生を受け入れ、更なる学力向上並びに運営の効率化と指導力の向上を目指して参ります。



村営学習塾「21世紀みらい」入塾式

宜野座高等学校の支援については、近年、定員割れが続いており、学級数の減少が危惧されることから、高校側と密に連携を取り、より魅力のある教育環境づくりを支援するため、部活動への村人材外部コーチ支援等、必要な支援を講じて参ります。

村ジュニア海外語学研修派遣事業については、昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりやむを得ず中止となりました。今年度は、海外における新型コロナウイルスの感染状況なども確認しながら、例年同様に米国ハワイ州にて事業を実施し、国際化社会に対応できる人材を育成するため、現地大学での語学研修やハワイ宜野座村人会との交流の充実を図って参ります。

また、派遣生を村内の小中学校へ派遣し、研修報告を行うことで、次世代の育成を目指して参ります。

青少年のスポーツについては、昨年、宜野座高校から初のプロ野球選手が2名誕生しました。また、宜野座中学校野球部が新人大会で23年ぶりに県制覇を成し遂げ、全国大会への出場権を獲得しました。少年野球では日本プロ野球12球団ジュニアトーナメントに出場する児童も誕生しました。

陸上競技においては、中学生3名が各種目（男子110H、女子100m・800m）で優勝を果たしており、

また、宜野座陸上クラブが県の優良団体として表彰を受ける等、各種競技において子ども達の活躍は目覚ましいものがあります。

その中、今年度より各種少年少女スポーツの競技力向上に向けて外部指導者や講師の招聘等、指導研修費用を助成して参ります。

これからも、関係団体と連携しながら各種スポーツ大会の実施や活動支援を行ないながら、子ども達の可能性を引き出せるよう努めて参ります。

小中高キャリア教育支援事業については、昨年度まで行ってきた地域型就業意識向上支援事業の効果検証を行い、産学官の相互連携・協働による宜野座村グッドジョブ連携協議会の充実強化や、新たな時代の変化に対応するためのキャリア教育が必要であることから、学校現場からのニーズにも対応し、宜野座村型キャリア教育の実施及び支援に取り組んで参ります。



宜野座陸上クラブ優良団体表彰

4. 村民が心身ともに 健康で元氣な村づくり

健康づくりの推進については、住民健診において、受診しやすい体制づくりに取り組み、受診率向上を図ります。引き続き、各種健康教室を開催するとともに、小学5年生、中学2年生を対象とした「子ども健診」を実施し、村民が自分の健康状態を認識することと、生活習慣病等の発症予防、重症化予防に取り組んで参ります。

また、禁煙治療を実施した際に医療費の一部を助成する「禁煙治療費助成事業」、各種団体等の自主的な健康づくりを支援する「健康づくり支援事業」等、各種事業に取り組むことで、村民が生涯、生き生きと暮らせる村を目指して参ります。

予防接種事業については、本村が独自で取り組んでいる1歳以上65歳未満を対象としたインフルエンザ予防接種等、各種任意接種費用の一部助成を引き続き実施するとともに、接種対象疾病の拡充を検討して参ります。

感染症予防事業については、現在、世界的に感染が拡大している新型コロナウイルス感染症に対し、村民への感染対策の周知徹底、対象となる村民がワクチンをスムーズに接種できるよう、国や県、医師会と連携しながら、取り組みを強化して

参ります。

高齢者福祉については、引き続き、第9期村高齢者保健福祉計画（宜野座村くがにプラン）に基づき、高齢者の皆様が住み慣れた地域で、健康で生きがいをもって安心して暮らせるように、世代を問わず互いに協力し、支え合う体制をつくり、笑顔あふれる村づくりの実現に向け、諸施策を展開して参ります。

一般介護予防事業については、引き続き、ぬちぐすい処及び体操教室を各区で毎週行い、60代からの健康づくり教室を週1回2クラス（初級・中級）実施し、介護予防に努めて参ります。

今年度より、新たにカンナタラソ ラグーナを活用した水中運動教室を3カ月1クールとして2クール開催し、更なる高齢者の健康増進への取り組みを強化します。

また、生活支援コーディネーターを中心として、



健康づくり事業

第1層協議体の充実と地域の連携により、支え合いの体制づくりに取り組んで参ります。

認知症対策については、昨年度に引き続き、認知症初期支援集中チームを金武町・恩納村と合同で医療機関に委託し、認知症地域支援推進員を中心に医療機関と地域との連携、家族の支援など、認知症を取り巻くあらゆる課題の解決に向け、取り組んで参ります。

障がい者福祉については、長期入院・入所している障がい者の地域移行・地域定着について、関係機関との連携体制整備について取り組んで参ります。また、障がい児及び発達に気になる子について、福祉と教育が連携できるような体制づくりに取り組むとともに、更なる相談支援体制の強化を図り、障がい児等への支援の充実を図って参ります。

国民健康保険事業については、沖縄県が目指す令和6年度国民健康保険税率の市町村統一を踏まえ、低税率である本村国保税率の引き上げを検討する必要性があります。その他、保険者努力支援制度の各種項目である保険税収納率、適正賦課、特定健診受診率、後発医薬品使用割合などの更なる向上に向け、引き続き、取り組んで参ります。

また、地域と連携し、糖尿病など生活習慣病の重症化予防に取り組むことで医療費の適正化を図

り、国保財政基盤の安定強化に努めるとともに、経営改善に向けて検討して参ります。

特に特定健診受診率向上への取り組みでは、村民の健康づくりや病気等の予防に対する意識の向上を図るため、村内外の関係機関・団体と連携し、インセンティブ事業の拡充やAIを取り入れた未受診者対策等に取り組んで参ります。

後期高齢者医療については、引き続き、運営主体の沖縄県後期高齢者医療広域連合と連携して業務をおこない、保険料に関しての納付相談などをはじめ、制度の円滑な運用に努めて参ります。

また、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」に取り組み、健康寿命の延伸を支援します。

国民年金については、老後や万一の病気やけがの時、生活の支えとなることから、引き続き、無年金者を出さないよう窓口相談や広報活動で免除申請や各種年金制度の周知を図って参ります。

社会教育施設については、昭和54年に整備された現在の中央公民館は耐震性能が脆弱で老朽化が進行している上に、教育・文化施設としての機能も時代にそぐわなくなっていることから、ふれあい交流センターとして地域課題や村民ニーズに即した新たな施設の整備に取り組み、今年度は実施設計を進めて参ります。

生涯学習については、引き続き、村民を対象とした公民館講座や村民自主講座の充実を図りつつ、サークル活動を推進することで、村民が充実した生活が送れるよう努めて参ります。

地域の歴史や文化の継承については、文化財を保護しつつ、「宜野座の八月あしび」に関連する企画展や野鳥観察会を開催します。

なお、「宜野座

の八月あしび」に関しましては、これまでの調査成果を基に国の無形民俗文化財の指定に向け、引き続き、関係機関へ要請して参ります。

更に、愛媛県内子町との文化交流事業について、昨年度、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で今年度へ順延となった内子町伝統芸能まつりへのお出かけ公演を予定しており、漢那区芸能団を派遣します。この伝統芸能継承団体による文化交流事業の取組を通して、更なる伝統芸能の継承発展につなげ姉妹町村の絆を一層深めて参ります。



戦後75年展
太平洋戦争と宜野座村

文化振興につ

いては、がらま
んホールを中心
に、音楽・演劇
などの文化芸術
を通じて、村民
の豊かな感性を
育み、地域に存
する芸能や芝
居・音楽サーク
ルなどの発表の
機会を設け、県
内外へ発信するとともに、村文化協会や村文化の
まちづくり事業実行委員会など各種団体と連携し
て文化振興に取り組んで参ります。

村立図書館に
ついては、資料
提供をはじめ、
施設機能を有効
に活用した利用
サービスの充実
を図るとともに、引き続き、
学校や地域、他
市町村の図書館
と連携し、文化
や芸術、国際交



ステキなステキなお話会



光の展覧会

流、生涯学習など村民の「人づくり」に活用される施設として充実を図って参ります。

また、お話し会や図書館講座などの事業を継続して行い、読書を習慣づけ、気軽に利用してもらえるような環境づくりに取り組むとともに地域のニーズに応えられるようにサービスの向上と充実に向けて参ります。

国際交流については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により昨年度は各種事業を中止しましたが、今後の収束状況を見極めながら今年度も例年同様、世界のギノザンチュとの交流事業として子弟研修生受入事業及び青年海外派遣事業に取り組めるよう検討し、世界のギノザンチュと村民との絆を深めつつ、国際感覚を身につけた人材を育成するとともに、次世代間交流を促進して参ります。

今年度は、第7回世界のウチナアンチュ大会が予定されておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により令和4年への延期が決定しています。また、今年創立40周年を迎えるブラジル宜野座村人会と、昨年創立60周年を迎えたペルー宜野座村人会の記念式典を、時期をあわせて今年開催するよう計画されていましたが、開催の見通しがたっていません。

このような中、昨年度は各国の宜野座村人会へ海外特別補助金として支援を行いました。引き続き、これまでの繋がりが継続されるよう、宜野

座村人会コミュニティに功績された皆様への感謝の意を込めるとともに、宜野座村人会との相互理解と友好親善を図って参ります。

また、令和元年度に、沖縄県移民の歴史啓発事業として国立劇場で開催された名誉村民である伊芸銀勇氏の生涯を描いた演劇「伊芸銀勇物語」を今年度は、村主催で村内小中高校生を対象に公演し、名誉村民の偉業について学ぶ機会を設けて参ります。

体育・スポーツ振興については、昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、国頭郡大会、県民体育大会、国民体育大会が中止・延期になり活躍の機会が喪失されましたが、今後も、引き続き、生涯・競技スポーツを推進するとともに、村民の健康増進と体力の向上が図れるよう、村民が「いつでも、どこでも、だれでも」気軽に楽しめるようスポーツの普及に努めて参ります。

体育施設の利用については、各施設の機能を十分に発揮すべく、長寿命化を図りながら、利用者が安心して使用できる環境づくりに取り組んで参ります。

5. 産業振興で活気ある村づくり

農業の振興については、農業者の高齢化や担い手不足等、農業に関する様々な課題の解決に向け

て、地域の状況を踏まえながら、関係者との話し合いを進め、5年、10年先を見据えた、人・農地プランの実質化を進めて参ります。

また、昨年度に引き続き、堆肥購入補助や既存農業用ハウスの修繕に必要な資材購入補助などの各種補助を実施して参りますが、ベビーリーフについては既存の農業補助制度の活用が難しいことから、新たな補助について検討して参ります。

耕作放棄地対策については、農業委員および農地利用最適化推進委員のご協力も得ながら農地流動化を推進するとともに、昨年度から開始されている荒廃農地活用促進事業を活用し、荒廃農地の解消を図って参ります。

基幹作物でありますさとうきびについては、増産に向け、引き続き、優良種苗の確保・増殖を推進するとともに、病害虫等の被害防止対策、機械化の推進と適切栽培の指導及び宜野座堆肥の使用推進



さとうきび初荷式

による地力増進を図り、反収アップを目指して参ります。

また、**宜野座区及び惣慶区のハーベスター機能強化の為、さとうきび收穫機械機能向上支援事業を活用して整備して参ります。**

パインアップル・マンゴーについては、引き続き、営農指導に努め、栽培技術の向上・生産拡大を図り、宜野座村特産品加工直売センター「未来ぎのざ」やJA等と連携を図りながら販路拡大に取り組んで参ります。

ベビリーフ及びイチゴについては、村の戦略品目として、生産者組織の強化を図るとともに、栽培技術の向上や補助事業を活用したハウス整備に向けて取り組む等、生産農家の支援に努めて参ります。

「有機の里宜野座村」の推進については、引き続き、営農指導員等による、減農薬栽培農家「エコファーマー」の育成や認定農業者の支援を図り、安全・安心な宜野座産農産物のPRを行い、「未来ぎのざ」を拠点として、県内外の量販店などへの販路拡大に向けて、取り組んで参ります。

新規就農者の確保や担い手農家の育成については、新規就農一貫支援事業を活用するとともに、コーディネーターによる農業経営指導や農業

後継者等育成センター及び農業指導士と連携した新規就農者などへのサポートを行なって参ります。



村農業後継者等育成センター入退所式

有害鳥獣対策については、引き続き、宜野座村鳥獣被害防止対策協議会の対策実施隊による銃器及びワナ、捕獲機等を用いての駆除を行うとともに、被害防止対策事業によるワイヤーメッシュ柵の設置を行う等、農作物の被害防止に取り組んで参ります。

畜産の振興については、これまで新規就農認定農業者へ優良繁殖雌牛更新促進事業により繁殖雌牛を導入し、宜野座村和牛の品質向上や肉用牛農家の経営安定に繋げて参りました。同事業については、昨年度で事業終了の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、牛の買い付けが出来ない状況となったことから、今年度も継続して事業を実施していく予定としています。

今後、JA等が取り組む畜産クラスター事業の導入や村畜産センターを活用した新規就農者の支援や後継者の育成に取り組むとともに、県立農業大学の移転予定地である「松田真平原地区」草地の代替地確保に向けて取り組んで参ります。

養豚関係については、令和2年1月に、沖縄県において33年ぶりに豚熱(CSF)が発症しました。今年度も、県や関係機関と連携しながら感染防止対策に努めて参ります。

村堆肥センターについては、引き続き、良質な宜野座堆肥生産に努めるとともに、令和2年3月より購入補助率を見直した宜野座堆肥の村内利用を促進し、地力アップによる増産及び赤土流出防止、同センターの経営改善を図って参ります。また、水肥活用のための散布用バキューム車を購入し、水肥の活用を推進して参ります。

オガコ施設については、引き続き、需要に応じたオガコの生産に努めるとともに、オガコの利用促進として、畜舎環境の改善などが図られるオガコ畜産を推進して参ります。

また、チップ材は赤土対策の敷材・土壌改良材として有効なことから、多面的なチップ材の活用を推進して参ります。

農業基盤整備事業については、今年度が最終年度となる漠那中山地区における県営水質保全対策

事業（宜野座第5地区）及び松田地区団体営農業基盤整備促進事業の継続実施に加え、**県営水質保全対策事業（宜野座第6地区）の工事に着手致します。**

また、観光客等の散策道として活用されている土地改良沿道の管理として、農村沿道景観向上事業を引き続き実施して参ります。

赤土等流出防止対策については、村赤土等流出防止営農対策地域協議会と連携し、営農段階における農業者及び地域住民への土壌保全等赤土流出防止に対する技術指導、啓蒙活動を展開するとともに、畦設置並びに心土破碎等の発生源対策も推進して参ります。

水産業については、漁業者の経営安定と向上に向けて、再編交付金基金事業を活用した漁場づくり事業として、漁礁設置工事を実施して参ります。老朽化が進行している漠那漁港荷捌き施設については、**今年度、防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金を活用して、建て替え工事を予定しております。**

また、引き続き、漁船燃料補助等の各種補助金制度の継続支援や離島漁業再生支援交付金事業を導入し、漁業者の自立に向けて、村漁業協同組合や各種団体と連携しながら、販路拡大並びに観光漁業の推進等の取り組みを支援して参ります。

情報通信産業については、宜野座村ITオペレーションパークにおいては、空きスペースやIT人材の不足などの要因により、厳しい経営が続いています。企業誘致活動の成果として、昨年度は2社が入居し今年度も1社の入居が見込まれております。

また、昨年度には再編交付金基金事業による自家発電機のオーバーホールを実施し、令和元年度より北部連携促進特別振興事業で取り組んでいるサーバーファーム機能高度化事業の第1サーバーファームの空調設備更新を終え、現在は間仕切り工事等を進めています。

その他、入居企業の人材確保のサポートとして沖縄振興特別推進交付金事業で導入しているWEB面接システムや、新型コロナウイルス感染症防止対策としての活用も含め、引き続き施設の魅力向上に努め、企業誘致に取り組んで参ります。

商工業の振興については、地元企業の受注機会の確保並びに育成及び経済の活性化を目的とした地元企業への優先発注及び村商工会で実施している村内購買促進事業を強化して参ります。

昨年の新型コロナウイルス感染拡大の影響により、村内事業所の多くで売り上げが減少し、固定費の負担による事業活動及び雇用の維持が厳しいなど経営環境は未だに改善されていない状況が続いています。**今年度は、村商工会で発行しているプレミアム商品券（水と緑と太陽の里商品券）を**

拡充するとともに、飲食店等応援商品券を村外向けにも追加販売する予定にしており、村内外の消費を喚起し地域経済の回復を目指して参ります。

また、特産品づくりとして、



水と緑と太陽の里商品券

小規模事業所の各種支援及び宜野座村「キラリ☆ぎの座」認定事業や、特産品アイデア応援奨励金事業などの特産品開発、既存商品の販売促進・拡大等に向け、村商工会と連携を強化して参ります。

観光産業については、これまで村観光協会を中心に、道の駅「ぎのぎ」を拠点として、協会会員や村商工会会員、関係事業者などと連携を強化して参りましたが、コロナ禍において本村の観光産業へ多大な影響が出ています。今年度は、村観光協会が進める県外PR事業等と合わせて、改めて村内関係事業者や、環金武湾振興協議会、包括協定を結んでいるソラシドエア社との連携を強めた宜野座村ならではの観光メニューの構築など、アイデア溢れる取組みにより、本村への誘客効果を

を高めて参ります。

また、地域資源を活かした、本村にふさわしい観光の在り方について、各種観光施設や各区、団体とも協議、連携しながら、更なる観光資源の発掘、観光ツーリズムの充実に取り組んで参ります。

道の駅「ぎのぎ」については、昨年度新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛等の影響を受ける中、来場者数の推計は45万人程度まで落ち込む見込みであります。他市町村から本村への来村目的地としての位置づけは確立されつつあり、本村の観光情報発信及び集客拠点施設としての機能を發揮しております。

また、昨年度は来村が叶わなかったJETプログラムによる村観光協会への外国人国際交流員（CIR）の配置を継続して要望し、道の駅「ぎのぎ」内観光案内所を、観光庁による外国人観光案内所（カテゴリー）として登録認定出来る様、道の駅「ぎのぎ」の付加価値向上に向けて取り組んで参ります。

宜野座村特産品加工直売センター「未来ぎのぎ」については、昨年度から所管を産業振興課から観光商工課へ移管し、商工業の観点から社内体制、直売所のレイアウトの見直しを行う等、経営改善に向けた支援を行って参りました。しかしながら、コロナ禍による来場者数の減少など影響を避けることが出来ませんでした。

今年度も経営改善に向けた支援を実施しながら、愛媛県内子町の道の駅フレッシュパーク「かりり」をはじめとする県外道の駅との連携体制や、特産品開発を含めた更なる販売力、企画力の強化を進め、本村の産業振興拠点及び道の駅の地域振興施設としての機能を強化して参ります。

花のむらづくりにについては、「やんばる花と美の風景街道パートナーシップ会議」において、本村の国道（旧国道を含む）が街道ルートに選定されており、昨年度実施した「風景周遊街道整備事業」における宜野座福地川沿いのサガリバナ植樹など、今後も関係機関と連携をしながら、地域の魅力向上に努めて参ります。

また、村民一人一人の美化に対する関心を高めるため、美化コンクールを実施するとともに、庭主をはじめ関係者と連携しながら、オーブンガーデンを開催し、花いっぱい運動や環境美化活動など地域の絆や一体感を醸成しつつ、村内外から広



宜野座村オープンガーデン 2021

く誘客を図り、食や遊び、体験、癒しなど本村の周遊観光にも繋げて参ります。

更に、地域の美しい風景を守り・育て・創造する総合的なむらづくりの推進を図ることを目的として、景観むらづくり活動団体が行う活動を支援して参ります。

漢那ビーチの管理については、利用者が安心・安全に利用できる環境づくりに努めながら、収入の確保など、活用方法を検討し、更なる活性化に取り組んで参ります。

スポーツツーリズムについては、各種体育施設を有効活用しながら引き続き、村観光協会を窓口として、カヌー日本代表や野球合宿をはじめ、スポーツ団体等関係者や旅行代理店などの招聘ツアーを企画するなど誘致活動を強化して参ります。

阪神タイガース関係については、村内少年野球チーム甲子園招待事業が昨年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響によ



第23回少年野球ドリーム大会 2020

り中止となりましたが、今年度も例年同様、阪神球団のご厚意により、少年野球ドリーム大会を制覇したチームを、甲子園球場に招待して頂けるとなっています。同大会における勝負の厳しさや、高校野球の聖地でもある甲子園球場で躍動するプロ選手を身近に感じ、ファーストピッチやスタメンキッズなど貴重な体験をすることにより子供たちの健全育成を図って参ります。

今年の阪神春季宜野座キャンプはコロナ禍の厳しい状況下で無観客での開催となりました。今年度は、村民は元より阪神ファンや観光客により一層楽しんで頂けるように内容の充実を図って参ります。また、野球場周辺だけでなく、村内の各種施設などに幅広く誘導するなど、阪神ブランドによる地域活性化を図って参ります。

村まつりについては、今年度も例年同様、沖縄振興特別推進市町村交付金を活用した、美ら島花火大会と同時に開催し、村民相互の融和と連帯意識を高め、地場産業の発展、育成を図るとともに、宜野座村の魅力を発信して参ります。

漢那ダムまつりについては、村まつり同様村民は勿論のこと多くの県民に森と湖に親しむ機会を提供し、心身ともにリフレッシュして頂き、森林やダム、河川等の重要性について関心と理解を深められるよう、人気のカヌーや体験コーナーの充実を図り、宜野座村の観光産業の振興及び地域活

性化に繋げて参ります。

産業まつり及び商工会フェスティバルについては、近年、開催時期やイベントの持ち方などの見直しを行ってきておりますが、本村における産業構造も、農水産業や建設業を中心としたものから、観光・飲食・IT関係など幅広い職種まで企業活動が実施されるなど、変化してきていることから、両まつりの持ち方について、関係団体と協議しながら、新たなイベントとしての開催に向けて取り組んで参ります。

雇用対策については、就職相談・斡旋など、地域のニーズに合わせた多面的な雇用機会の創出、拡充など、人材サポートセンター事業の充実強化に努め、求人者と求職者のマッチング等、地域雇用の支援を行って参ります。

また、ハローワーク沖縄並びに沖縄県、地域社会、各関係機関との相互連携を進め、新たな雇用の創出と失業者対策に取り組んで参ります。

6. 平和で安全・安心な村づくり

米軍基地問題については、常態化している米軍機による民間地上空における飛行訓練や民間地付近のヘリパットを使用した離着陸訓練からの騒音被害に加え、特に昨年度は、5月に起こった米軍関係者の飼犬による咬傷事案や、7月に在沖米

軍基地内での新型コロナウイルスの大規模な感染、11月には米海兵隊員によるタクシー強盗事件を始めとした、多数の事件等で地元住民の皆様には、大きな不安と恐怖を与えております。村では、その都度、日米関係機関に要請を行っているところですが、なかなか解決、改善に至っていないのが現状です。私自身、村民の生命、財産を守る立場から、大変歯がゆい思いをしていますが、今後、しっかりと現状に向き合い、宜野座村長としては勿論、沖縄県軍用地転用促進・基地問題協議会の副会長やキャンプ・ハンセン3町村連絡協議会の幹事として、様々な機会を通して、諸問題解決、負担軽減に向けて、粘り強く要請して参ります。

また、普天間飛行場代替施設の辺野古移設問題については、現在、国と県が係争中であり、今後の展開は予断を許さない状況が続いていますので、引き続き、その動向を注視していきたいと考えています。

防災については、近年の台風の大型化や地震・津波等の大規模災害時に備えるため消防や警察など、各関係機関との協力体制を確立し、村民等の避難が迅速かつ円滑に行えるよう取り組むとともに、村民の防災意識の高揚を図るため、引き続き、防災教育などの開催及び自主防災組織の育成を推進して参ります。

また、昨年度に策定した「宜野座村国土強靱化

地域計画」を基本に、事前防災・減災及び災害時の迅速な復旧・復興に繋げて参ります。さらに、災害時の避難所として指定している各区の公民館などの機能強化を目的とした太陽光発電設備や蓄電池などの整備計画等に着手して参ります。



漢那区自主防災組織による地震・津波防災訓練

防災行政無線については、新たに防災行政無線デジタル化及び防災情報システム化の工事を実施し、村民の生命を第二に考えた多様な情報発信ができるシステムへ更新して参ります。

交通安全については、引き続き、石川警察署及び関係機関、交通ボランティア、地域住民の協力のもと、交通安全思想の普及、交通事故防止に積極的に取り組むとともに、地域住民と連携し、生活道路や通学路の交通安全施設等の点検を実施して参ります。

また、昨年度より高齢者のアクセルとブレーキペダル踏み間違いによる交通事故を防止する目的

で、高齢者を対象とした急発進抑制装置装着の補助制度を開始しましたが、今年度は対象年齢を65歳以上に引き下げて実施して参ります。

防犯については、引き続き、地域社会と協働した安全で安心な村づくりの実現のため、石川警察署及び関係機関と連携を図り、青色回転灯装備車両による防犯パトロールを定期的に実施するとともに、危険箇所点検や青少年の健全育成、暴力団排除活動、チラシ配布、不審者情報提供などによる防犯活動、犯罪を起こしにくい環境づくりに取り組んで参ります。

7. 安らぎと潤いのある村づくり

村道整備につ

いては、昨年度からの繰越事業であります国土交通省補助金による橋梁補修・撤去工事や沖縄振興公共投資交付金を活用した村道中原線改修工事、防衛省委託金事業及び民生安定施設整備



村道漢那旧国道線

事業による福山進入路整備工事等に加え、今年度は調整交付金事業による漢那赤崎1号線等の整備を進めて参ります。

また、村道に架かる橋梁の安全確保を図るため長寿命化修繕計画に基づき補助事業等を導入し、随時、橋梁補修工事を行います。

今後も、地域のご要望に誠意取り組みと共に、災害発生時の一時避難場所及び避難通路の確保や危険箇所の除去等、安心安全確保のため早急な対策を行って参ります。

循環型の村づ

くり及び一般廃棄物の処理については、建設が進められていた金武地区清掃センターが、地元福山区をはじめ関係者の皆様のご理解とご協力により、試運転を経て昨年9月から本格的に供用を開始しております。金武地区消防衛生組合と連携を取り、効率的で安定したごみ処理に努めて参ります。



金武地区清掃センター

家庭ごみの収集については、今年4月から不燃ごみ収集日の一部変更を予定しております。村民の皆様にはご不便をおかけする部分もございますが、ごみの減量化・資源化、分別ルールの徹底に引き続きご理解、ご協力を頂き、一般廃棄物の適正処理に取り組んで参ります。

粗大ごみについては、現在は全て自己搬入となっておりますが、**今年度から、軽トラックなどの運搬車両がなく、ご自身での搬入が困難な方を対象として、村での回収を開始して参ります。**

廃家電や粗大ゴミなどの不法投棄については、引き続き、監視カメラの設置や環境監視員の活用、職員によるパトロールを引き続き実施して参ります。

危険生物の駆除については、ハブや野犬などによる咬傷事故の発生を未然に防止するよう、積極的に捕獲・駆除を行い、安全・安心な生活環境の保全に取り組んで参ります。

また、動物の適正な飼養と愛護の周知や飼い主の意識啓発を図り、捨て犬・捨て猫防止や放し飼いの防止に努めて参ります。

上水道事業については、継続事業となる福山浄水場改修事業において、送水施設の電気機械設備の改修等を実施して参ります。

また、旧前原橋が取壊し予定となっておりますが、本村の重要配水管が橋梁添架されている事と、老朽化が進んでいることから、前原橋配水管布設替工事をを行います。今後も、安全で安心な水の安定的な供給に努めて参ります。

下水道事業については、既存施設の適切な維持管理の徹底に努め、より一層の生活排水環境の充実に努めるとともに、将来にわたって持続可能な経営を確保するため、公営企業会計への移行に努めて参ります。

また、**宜野座地区並びに松田地区クリーンセンターの処理施設老朽化に伴う機能強化事業が事業採択されたことから、実施設計・調査及び松田地区管路延伸工事の実施設計に取り組んで参ります。**

8. 自立を目指すむらづくり

むらづくりについては、「第5次宜野座村総合計画（基本構想）」を宜野座村の「むらづくりビジョン」の最上位計画として位置づけ、基本構想の方針、基本計画の施策に基づき村民の皆様とともにより良いむらづくりに取り組んで参ります。

また、今年度は、前年度から継続実施となる前期基本計画の検証と後期基本計画の策定、併せて地方版総合戦略の検証と次期「地方版総合戦略」の策定に着手しており、引き続き、「水と緑と太

陽の里・宜野座村」の実現を目指し取り組んで参ります。

自主財源の確保については、引き続き、公平公正の理念のもと、国、県と連携を取りながら滞納処分を実施し、徴収率の向上を目指して参ります。

ふるさと納税については、昨年度が前年度比130%増の約1億6千万円の納税がありました。引き続き、インターネット等を活用した気軽に寄附ができるシステムを運用し、納税額の増並びに返礼品の拡充に努めて参ります。



返礼品

行財政改革については、行財政の現状等、情報の発信を行い、村民のご理解とご協力のもとに、指定管理の導入を含めた業務のアウトソーシングなども検討し、行政サービスの効率化と経費の節減に努め、持続可能な安定した行財政運営に、取り組んで参ります。

なお、**今年度は新たに家庭ごみの収集業務および集落排水事業における中継ポンプの管理などを**

外部委託する予定としております。

さらに、庁舎を含む公共施設等の電気料金の契約を3カ年の特別割引契約に変更し、電気料の節減を図って参ります。

男女共同参画行政については、昨年度、平成22年3月に策定の「宜野座村男女共同参画推進計画」を見直す予定としておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により「男女共同参画推進委員会」の開催を中止しているところであります。今年度は感染症対策を講じながら、同委員会を開催し、これまでの取り組み内容を精査し、今後の計画について見直しを図って参ります。

電子自治体の取り組みについては、昨年度に住民情報システム等基幹システムのクラウド化を恩納村と共同で行い、同じシステムを利用することにより、事務の効率化、セキュリティ強化及び災害時のデータ損失防止等を行える体制を整備しました。今年度は、国が進める行政のデジタル化に向け、行政サービスの充実が図れるように、住民に関する手続き業務の洗い出しやニーズ調査、先進地研修を行うとともに、業務の効率化に向けて議会と連携し、タブレット端末等を活用した議案等のペーパーレス化を図るとともに、電子決済・文書管理システム等、役場業務のデジタル化を総合的に検討して参ります。

産学官連携については、北部12市町村が設立団体である名桜大学や沖縄国立高専などの教育機関や包括協定を結んでいる企業などとも連携しつつ、各分野における地域課題解決に向けた取り組みを推進して参ります。

9. おわりに

今年度は沖縄県が本土復帰して49年目となり、沖縄21世紀ビジョン基本計画の最終年度となることから、現在、国や県では同計画で実施された各種事業の精査・検証に加え、新たな振興計画の策定に向けて市町村をはじめとする関係機関との協議が進められております。しかしながら、自由度の高い一括交付金制度や高率補助制度についても継続されるかは未だ不確実な状況であります。

このような中、私は、引き続き北部市町村会長の任を仰せつかることになりましたので、新たな振興計画の策定につきましても、本村のみならず、北部地域の代表として積極的に関わっていききたいと思っております。

今後、本村の魅力や課題など「宜野座村」の現状としっかりと向き合いながら、将来を見据えて、村民一人ひとりが誇りに思える村の実現に向け、職員一丸となって、諸事業に取り組んで参ります。

令和3年度の村政運営にあたり所信の一端を申し述べて参りましたが、今年度も、村民福祉の向

上に努め、本村の更なる発展のために日々全力を傾注して参ることをここにお約束申し上げます。また、改めて議員各位と村民皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。令和3年度の施政方針とさせていただきます。

令和3年3月9日

宜野座村長 當 眞 淳

宜野座村オープンガーデン 2021

～ 庭主が丹精込めて作り上げた庭を周遊 ～



3月8日～14日にかけて、環境美化への関心、意識高揚を図り、村民が一体となって自主的に美化活動に取り組むことで、地域の美しい景観づくりを推進することを目的とし「訪れた人が心とむような花の村づくり」をテーマに宜野座村オープンガーデン2021が開催され、村内外から2、500人余りの来場がありました。

期間中は、村内のいたるところにのぼり旗や案内看板が立てられ、庭主が丹精込めて育てた素敵なお庭を周遊する姿が数多く見られました。

今回オープンガーデンに庭主として協力していただいた宜野座区の池ノ谷春子さんは「遠方からお客さんが大勢来てもらえた。花を見ていると癒されると話してくれたお客さんもう嬉しかった」と話しました。



オープンガーデン開催期間中は、下記の店舗が毎日開店し、多くの利用者と賑わいました。

- ・そばカフェ ホウオウボク
- ・カンナリゾートヴィラ
- ・ぎのざのお菓子屋 SUN
- ・レストランうりずん
- ・小料理くりや
- ・パーラーカズ
- ・B&B Tandem
- ・やかそば
- ・Village
- ・nil+





「キラリ☆ぎの座」認定表彰受賞者

「キラリ☆ぎの座」認定表彰式

3月7日、オンライン配信で開催された村商工会フェスティバルにおいて、キラリと光る村の魅力を発信することで、村内の産業振興、経済活性化を促進することを目的とした、令和2年度「キラリ☆ぎの座」認定表彰式が行われました。

村のキラリと光る魅力的な

「土産品」「グルメ」を村が認定・推奨し、土産品には認定ステッカーを、グルメが認定された店舗にはのぼりを掲げています。

《土産品部門》

- ・ B & B タンデム
- 「黒糖とクルミのスコーン」
- 株式会社 松藤
- 「宜野座のしずく」

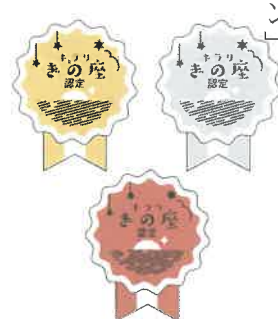
《グルメ部門》

- ・ キッチンまんじろう
- 「からあげ」
- ・ Cream Cream
- 「ソフトクリーム」

- 「サンデー」
- 「ホットサンド」
- 「クレープ」^初
- ・ 炭焼家てんぷす
- 「エビのサクサク揚げ」
- 「てびちのから揚げ」^初
- ・ B & B タンデム
- 「豚肉のファルシー」
- ・ 小料理屋くりや
- 「サイコロステーキ」
- ・ izakaya HANAYA
- 「ガパオライス」^初



認定グルメのぼり



認定土産品ロゴ

花の村づくり美化コンクール表彰式

「宜野座村の景観を更に美しく」

3月7日、地域美化に尽力する団体や個人を激励し、環境美化への意識高揚を図り、村民が一体となって自主的に美化活動に取り組める体制づくりの構築を目的とした、宜野座村花の村づくり美化コンクール（主催・村花の村づくり推進協議会）の表彰式が村観光拠点施設で行われました。各区や学校など12件の応募があり、審査会を経て4人、5団体が受賞しました。

【個人】

- ・ 最優秀賞Ⅱ池ノ谷春子
- ・ 優秀賞Ⅱ森山勝

【学校】

- ・ 最優秀賞Ⅱ漢那小
- ・ 優秀賞Ⅱ宜野座小

【区事務所】

- ・ 最優秀賞Ⅱ城原区事務所
- ・ 優秀賞Ⅱ漢那区事務所

【事業所】

- ・ 優秀賞Ⅱ村デイサービス（村社協）

【全般】

- ・ 特別賞Ⅱ小橋川久

【地域美化功労賞】

- ・ 渡嘉敷直美





運動指導をする山下慶太氏(ペアール・沖縄)



SUPヨガを指導する葉山志帆氏
(日本サップヨガ協会)

カンナ タラソ ラグーナを活用した健康づくり

令和2年12月から令和3年3月にかけて、村民の健康づくりに対する意識の向上と総合的な健康づくり活動の発展を目的にカンナ タラソ ラグーナを活用した水中健康運動教室が開催されました。

シニアクラスとアクティブクラスの2つに分け、各クラス全12回の教室では、アクアウォーキングやサップヨガなど多彩な運動が行われました。

タラソ支配人の図師里香氏は「多くの方が健康づくりに参加してくれて嬉しい。これからも村と連携して取り組んでいきたい」と話しました。

オゾン脱臭器寄贈

3月4日、村役場において、三友商事株式会社よりオゾン脱臭器15台が寄贈されました。

薬剤などを使用せずに感染予防ができることから医療現場や救急車などでも活用されています。

三友商事株式会社の大門正義社長は「コロナ禍における施設内の感染リスク低減に役立ててほしい」と話しました。

オゾン脱臭器は、村内体育施設や学校施設などで活用する予定となっています。



大門正義社長よりオゾン脱臭器寄贈



安富祖久明氏(前列右から2番目)より
漢那小学校へ校旗を寄贈

漢那小学校へ校旗寄贈

3月15日、漢那小学校において、医療法人徳洲会理事長の安富祖久明氏(漢那区出身)より生まれ故郷のために何か力になりたい、子ども達の励みになってくれればとの思いから漢那小学校へ校旗の寄贈が行われました。

校旗を受け取った岸本五穂子校長は「今年で75周年を迎える年に校旗を寄贈していただきとても感謝しています」と話しました。

感謝状贈呈

3月16日、博物館事業の振興と地域文化の向上発展に大きく貢献したとして、田里一寿教育課長補佐へ沖縄県博物館より感謝状の授与が行われました。

感謝状を受け取った田里教育課長補佐は「今後も宜野座、やんばる、沖縄の歴史や文化の研究に励み、文化財の保護や活用に関わりながら沖縄県の文化財行政や博物館を担う一因としてその発展に尽くしていきたい」と話しました。



感謝状を受け取る田里教育課長補佐

高校生新聞社賞受賞

3月16日、高校生活3年間において自主性と行動力をもって挑戦し、大きく成長した生徒に対して贈られる高校生新聞社賞を受賞した惣慶区出身の玉城萌衣さん（名護高3年）が當眞村長のもとを訪れ受賞報告が行われました。

報告を受けた當眞村長は「多くの生徒の先頭に立ち一つの行事を作り上げたことはとても素晴らしい。進学してからこの経験を生かしてほしい」とエールを送りました。



當眞村長へ受賞報告を行う玉城萌衣さん

三線の棹を寄贈

3月16日、村役場において、新里光雄氏（惣慶区出身）より、これまでに集めた沖縄の三線の棹16丁と工四・沖縄の三線の型一覧表などの伝統工芸品が寄贈されました。

當眞村長は「本村に関わる方や子ども達へ伝統芸能の継承などの人材育成に活用していきたい」と話しました。寄贈いただいた伝統工芸品は、村博物館において、展示を予定しています。



新里光雄氏（中央）より三線の棹を寄贈

カンナタラソdeマルシェ

3月22日、村役場において、松田エレナ氏（naamy's マーケット代表）より子ども達のために活用してほしいと寄付が行われました。

同月16日にカンナタラソラグーナで開催されたnaamy's マーケットでは、女性の為の無料ミニ講座やチャリティー抽選くじ、生活困窮世帯への食糧支援プロジェクトなどが行われ、村内外から多くの方が訪れ賑わいを見せました。



松田エレナ氏（中央）より寄付

功労賞受賞報告

3月22日、一般社団法人沖縄陸上競技協会が70周年を迎えるにあたり、これまで多年にわたり陸上競技の普及と競技力向上に熱意を持ち青少年の健全な育成と陸上競技の振興発展に尽くされたとして功労賞を受賞した屋良宣条氏が當眞村長のもとへ受賞報告に訪れました。

報告を受けた當眞村長は「これまでの功績と結果が認められた結果だと思う。引き続き子ども達への指導をお願いします」と話しました。



當眞村長へ受賞報告を行う屋良宣条氏

優良賞受賞報告

3月26日、宜野座中学校の伊波寿光校長と伊藝大輔先生による「様々な角度から迫る学級の集団作り」を研修テーマとした論文が、第28回教育実践研究論文において優良賞を受賞し、新里教育長のもとへ受賞報告に訪れました。

論文選考員からは「学級通信を活用して人間関係の構築、保護者との連携、生徒の諸活動の紹介など学級経営の要として役立てている素晴らしい実践である」と評価をいただきました。



新里教育長へ受賞報告を行う
伊波寿光校長と伊藝大輔先生

令和2年度退職者辞令交付式

3月31日、令和2年度退職者辞令交付式が村役場ロビーで行われました。退職者及び転任者は次の通りです。

副村長
山城 智（39年10月）
総務課長

下里 哲之（35年）
産業振興課長

石川 岩夫（31年）
建設課長

河上 正秀（36年6月）
教育指導主事

池原 健太（与那国中学校へ転任）



左から下里哲之の総務課長、山城智副村長
河上正秀建設課長、石川岩夫産業振興課長

金武地区消防衛生組合消防長に 前泊 万寿夫氏 就任

4月1日付けで『金武地区消防衛生組合消防長』を拝命いたしました。もとより微力ではありますが、住民の皆様の負託に応え、信頼される消防衛生組合を目指し、職員一丸となって努力を重ねて頑張りますのでよろしくお願いいたします。



金武地区消防本部
新消防長
前泊 万寿夫 氏

*令和3年度金武地区消防本部人事

- ・金武地区消防署長
新里 道夫（旧消防課長）
- ・消防本部総務課長
仲間 務（旧総務課長補佐）
- ・消防本部警防課長
山内 明政（旧金武地区消防署長）
- ・消防本部予防課長
仲村 康司（旧警防課長補佐）
- ・宜野座分遣所長
前田 哲男（金武地区消防署係長）
- ・衛生課長
仲間 淳一（旧金武町役場監査事務局長）

社会体育施設物品購入

3月16日、村では令和2年度特定防衛施設周辺整備調整交付金事業を活用し、各種イベント等に必要な備品を整備することで社会体育施設としての機能を向上させ、更なる利活用促進を図ることを目的としてテーブルと折畳椅子を購入しました。

- ・テーブル 100台
- ・折畳椅子 300脚





新教育指導主事
伊差川 仁 氏

教育指導主事紹介
4月1日付けで、伊差川仁氏が教育指導主事に任命されました。



新教育委員
屋良 宣克 氏

教育委員紹介
4月1日付けで、屋良宣克氏が教育委員に任命されました。



新副村長
下里 哲之 氏

副村長紹介
4月1日付けで、下里哲之氏が副村長に任命されました。

令和3年度 宜野座村人事一覧表 (令和3年4月1日付)

1. 異動・昇任

NO	氏 名	役 職 名	新 課 名	旧 課 名	備 考
1	島袋光樹	課 長	建 設 課	観光商工課	役職名の変更
2	城間 真	課 長	総 務 課	総 務 課	昇任
3	浦崎正人	課 長	産業振興課	産業振興課	昇任
4	仲間 出	参 事	観光商工課	上下水道課	昇任
5	嘉手川繁和	課長補佐	上下水道課	上下水道課	昇任
6	新里由美	主 幹	健康福祉課	健康福祉課	昇任
7	翁長和代	課長補佐	村民生活課	村民生活課	昇任
8	島袋禎子	課長補佐	総 務 課	総 務 課	昇任
9	仲間 輔	課長補佐	産業振興課	北部広域	昇任
10	新里秀輝	係 長	農業委員会	農業委員会	役職名の変更
11	赤嶺綾乃	係 長	総 務 課	産業振興課	役職名の変更
12	新里ゆう子	係 長	建 設 課	建 設 課	昇任
13	平田大悟	係 長	企 画 課	企 画 課	昇任
14	仲程江梨子	係 長	健康福祉課	健康福祉課	昇任
15	山城優太	係 長	産業振興課	産業振興課	昇任
16	仲間芳博	係 長	産業振興課	産業振興課	昇任
17	山川和朗	係 長	村民生活課	村民生活課	昇任
18	比嘉力康	係 長	総 務 課	総 務 課	昇任
19	伊芸徳二	主 査	総 務 課	総 務 課	昇任
20	仲間康朝	主 任	総 務 課	村民生活課	
21	池原望美	主 任	健康福祉課	上下水道課	復職
22	高里雄立	主 任	上下水道課	金武地区消防	
23	島田真梨絵	主 任	産業振興課	村民生活課	
24	島袋源也	主 任	企 画 課	産業振興課	
25	仲吉武玄	主 事	村民生活課	企 画 課	

2. 金武地区消防衛生組合派遣職員 (R3.4.1~R6.3.31)

NO	氏 名	役 職 名	新 課 名	旧 課 名	備 考
1	伊芸宏夫	課長補佐	金武地区消防	村民生活課	3年

3. 北部広域市町村圏事務組合派遣職員 (R3.4.1~R5.3.31)

NO	氏 名	役 職 名	新 課 名	旧 課 名	備 考
1	安富 響	主 事	北部広域	健康福祉課	2年

4. 新採用職員

NO	氏 名	役 職 名	課 名	備 考
1	岸本華花	主 事	村民生活課	
2	宮城皓介	主 事	産業振興課	
3	仲村康助	主 事	健康福祉課	

新職員紹介



仲村康助 (松田区)
健康福祉課

常に向上心を持ち、初心を忘れず、生まれ育った宜野座村発展のために日々精進していきます。

村民がより住みや
すい村づくりや地域
行事に貢献し、初心
を忘れず、日々成長
できるよう取り組ん
でいきます。



岸本 華花 (惣慶区)
村民生活課



宮城 皓介 (惣慶区)
産業振興課

責任感を持って業
務に励み、村民に名
前と体格を早く認知
してもらえよう地
域行事も積極的に参
加し頑張っていきま
す。よろしくお願いします。

當眞村長

3月の 主な動向

- 1日・行政連絡会議、阪神タイガース春季キャンプ打ち上げ、行政会議、第47回新型インフルエンザ等対策本部会議
- 3日・県町村会職員互助会総会、「地域医療従事者」表彰式、県町村会総会、県国民健康保険団体連合会総会、県後期高齢者医療広域連合説明会
- 7日・ツール・ド・おきなわ2020チャレンジャークリニックコーススターター（北本市町村会長）、村商工会フェスティバル、村「きらり☆ぎの座」認定表彰式
- 9日・定例議会（24日）
- 11日・県へ金武町との合同要請（東海岸サンライズ構想）
- 15日・県企画部長へ表敬
- 16日・教育課田里補佐へ県博物館協会功労者感謝状贈呈式、名護高校3年玉城さん高校生新聞社賞受賞報告、野村流音楽協会師範新里光雄氏村へ三線贈呈式
- 17日・キャンプ・ハンセンに関する三町村連絡協議会調整会

議、村イチゴ生産組合との意見交換会

18日・未来のぎ取締役会

19日・日本カヌー連盟ナショナルチーム沖縄合宿激励会

22日・mammy's マーケット来訪（村への寄付）、屋良宣条氏県陸上協会功労受賞報告

24日・健康づくり推進協議会

25日・北部振興会評議員会、公立北部医療センター整備協議会

26日・ツール・ド・おきなわ協合理事会、県総合交通基本計画推進協議会（県町村会長代理）

30日・金武地区消防衛生組合高規格救急自動車の寄贈に係る受納式、金武地区消防衛生組合定例議会

31日・村役場退職者辞令交付式



ありがとうございました

次の方から村社会福祉協議会へ寄付がありました。
新里文康様より地域福祉の為に
金一封

幼・小・中学校の給食費が無償になります!!

●事業の目的

宜野座村では、子ども達の心身の健全な発育と保護者の経済的負担の軽減、そして子育て支援充実のため、令和3年度より村立幼稚園の園児、村立小・中学校の児童生徒の給食費を無償化します。

（特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用）

いつから？

令和3年4月より開始です。

誰が対象？

村立幼稚園、小学校、中学校に在籍し、且つ、村内に住所がある子どもが対象です。

手続きは？

手続きはございません。

お問い合わせ先

宜野座村給食センター：☎098-968-8509

【広告】



合 同 会 社

琉球自工

車検・整備 / 鈑金・塗装 / ロードサービス・保険事故

車検・修理はこちら：TEL 098-989-6464

ロードサービス専用ダイヤル：☎0120-881-524

お気軽にご相談ください！





国民年金加入中のみなさんへ 学生特例申請のお知らせ

／令和3年度 学生特例申請の受付が始まります／

国民年金には、経済的な理由等で保険料を納めることが困難な場合、申請により保険料の納付が免除される制度があります。

●学生納付特例制

申請により在学中の保険料の納付が猶予されます。
本人の所得が一定以下の学生が対象です。

【免除申請に必要なもの】

- ・印鑑
- ・基礎年金番号または個人番号がわかるもの
- ・学生証の写しまたは、在学証明書の原本



※高等学校、高等専門学校、大学（短期、大学院）や各種学校、一部の海外大学の日本分校に在学する方（夜間・定時制課程や通信課程も含む）が対象となります。

学生納付特例期間については、10年以内であれば保険料をさかのぼって納めること（追納）ができます。将来受け取る年金額を増額するためにも、追納することをお勧めします。

※学生納付特例制度により令和2年度に保険料納付を猶予されている方で、令和3年度も引き続き在学予定の方へ、日本年金機構より4月上旬頃にハガキ形式の申請書が届きます。同一の学校に在学されている方はこのハガキに必要な事項を記入して、ご返送いただくことにより令和3年度の申請ができます。（この場合、在学証明書または学生証の写しの添付は不要です。）

／保険料納付の免除または猶予の制度が他にもあります／

【免除及び猶予申請の種類】

- 免除申請・・・本人、配偶者、世帯主の前年所得が一定額以下や失業等の理由がある場合、全額または一部が免除となります。
- 法定免除・・・生活保護による生活扶助、障害年金受給者、ハンセン病療養所等での療養者は、免除となります。
- 産前産後免除・・・出産（予定）日の属する前月から4ヶ月間が免除となります。
- 納付猶予制度・・・50歳未満の方で本人、配偶者の前年の所得額が一定額以下の場合に、保険料の納付が猶予されます。
- 臨時特例免除・・・新型コロナウイルス感染症の影響により臨時特例措置として免除申請が可能に（R1、R2年度分）となりました。

【申請に必要なもの】

- ・印鑑
- ・基礎年金番号または個人番号が分かるもの
- ・失業が理由の場合は、離職票または雇用保険受給資格者証
- ・出産（産前時のみ）が理由の場合は親子健康手帳（母子手帳）

保険料を納めることが困難な場合は、未納のままにせず窓口で相談して下さい。





後期高齢者医療保険より長寿健診受診券を送付します。

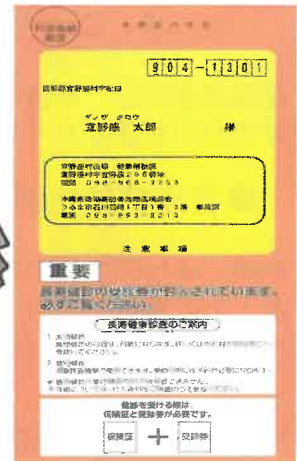
健診は集団健診と個別健診の2通りの方法があり、年1回受診できます。

- ・**集団健診** 公民館で実施しますので、同封の日程表を確認下さい。
- ・**個別健診** 各自で医療機関等に予約して、受診して下さい。

※自己負担はありませんが、2回目以降の受診費用については、全額自己負担になることがあります。

★注意事項

- ・受診する場合、受診券・被保険者証を忘れずに持参して下さい。
- ・個別健診を受診される方は、各医療機関に予約をして下さい。



☆マイナンバーカード申請サポートについて☆

マイナンバーカードを作りたいけど・・・

申請方法がわからない方！証明写真が撮れずに困っている方！

村民生活課にて、**申請の受付から写真撮影**までサポートしています。

お気軽にご相談下さい。

※申請時に必要な書類等がありますので、村民生活課へ電話連絡し、ご来庁下さい。

お問い合わせ先： 村民生活課 ☎ 968-8501



地域に新たな風をおこそう!!

求む!

パインアップル生産者「新規就農者・規模拡大農家」

募集!

- 目的：加工原料パインアップルの安定生産のため、栽培管理方法の改善を図り、新規就農者・規模拡大農家を支援します。
- 対象者：①新たに農業経営に従事する者、既存農家でパイン栽培を行う者
②現にパイン農家で、在園面積拡大を行う者
- 面積要件：面積は約30a～100aを想定しています。
- 支援内容：園地の整備費・生分解マルチ・植付費 ※上限124,300円/10a ※対象とならない経費もありますので事前にご確認ください。
- 募集要綱及び申込み用紙の配付場所：各市町村農業担当課・JA支店
- 申込み締切：令和3年6月15日
- 対象者の決定：ほ場の確認、面談を行い、採用可否の通知を行います。
- 事業実施主体：沖縄県農業協同組合 JAパイン対策部 ☎098-43-2152
- その他：本事業は、「パインアップル産地構造改革特別対策事業」の事業承認が前提となります。

自衛官採用試験

第1回一般曹候補生

- (1) 1次試験：令和3年5月21日(金)から30日の間のうち1日
- (2) 受付期間：令和3年3月1日(月)から同年5月11日
- (3) 試験会場：那覇市内を予定
- (4) 受験資格：18歳以上33歳未満の者

一般幹部候補生

- (1) 1次試験：①令和3年5月8日及び9日
②令和3年6月26日(飛行要員を除く)
- (2) 受付期間：令和3年3月1日(月)から同年6月18日(飛行要員は4月28日まで)
- (3) 試験会場：那覇市内を予定
- (4) 受験資格：大卒程度 22歳以上26歳未満の者(院卒者は28歳未満)

連絡先：沖縄地方協力本部 名護地域事務所 ☎:0980-52-4064

ぎのざ暦

4月9日～5月10日

「毎月第3日曜日は家庭の日」

4/9 金	ひのと め 大安 旧2月28日	幼稚園入学式	25 日	みずのと う 仏滅 旧3月14日	腰悪い(松田区・惣慶区) 腰休み(宜野座区・福山区・城原区) 漢那区常会
10 土	つちのえ ね 赤口 旧2月29日		26 月	きのえ たつ 大安 旧3月15日	農業委員会定例会
11 日	つちのえ うし 先勝 旧2月30日	清明祭(松田区・宜野座区・惣慶区・漢那区)	27 火	きのと み 赤口 旧3月16日	
12 月	かのえ とら 先負 旧3月1日	惣慶区教育隣組	28 水	ひのえ うま 先勝 旧3月17日	
13 火	かのえ う 仏滅 旧3月2日		29 木	ひのと ひつじ 友引 旧3月18日	昭和の日 宜野座村民健康ゴルフ交流大会
14 水	みずのえ たつ 大安 旧3月3日		30 金	つちのえ さる 先負 旧3月19日	
15 木	みずのと み 赤口 旧3月4日	農地パトロール	5/1 土	つちのと とり 仏滅 旧3月20日	
16 金	きのえ うま 先勝 旧3月5日	福山区戸主会	2 日	かのえ いぬ 大安 旧3月21日	
17 土	きのと ひつじ 友引 旧3月6日	乳児検診 漢那区教育隣組会 城原区定例戸主会	3 月	かのと め 赤口 旧3月22日	憲法記念日
18 日	ひのえ さる 先負 旧3月7日	腰悪い(漢那区)	4 火	みずのえ ね 先勝 旧3月23日	みどりの日
19 月	ひのと とり 仏滅 旧3月8日		5 水	みずのと うし 友引 旧3月24日	こどもの日
20 火	つちのえ いぬ 大安 旧3月9日		6 木	きのえ とら 先負 旧3月25日	宜野座区教育隣組会
21 水	つちのと め 赤口 旧3月10日	宜野座ウォーク	7 金	きのと う 仏滅 旧3月26日	
22 木	かのえ ね 先勝 旧3月11日	1.6・3歳児検診	8 土	ひのえ たつ 大安 旧3月27日	子ども読書フェスティバル
23 金	かのと うし 友引 旧3月12日	宜野座区定例戸主会	9 日	ひのと み 赤口 旧3月28日	宜野座区民作業 福山区美化作業 福山区民ボウリング大会
24 土	みずのえ とら 先負 旧3月13日	ステキなステキなお話会	10 月	つちのえ うま 先勝 旧3月29日	

(※主催者側の都合等で変更になる場合があります。お出かけの前に確認しましょう。)

広報ぎのざは
ホームページで
閲覧できます。

宜野座村ホームページ
<http://www.vill.ginoza/okinawa.jp>



人事異動に伴い、4月より村民生活課へ配属になりました。広報誌作成に携わるのも4月号で最後となります。

取材では、多くの方々に大変お世話になりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

次の部署ではこれまで培ってきたものを活かして頑張りたいと思います。

後任は、漢那憲李になります。これからも広報ぎのざをご愛読宜しく願います。

◆ 編集後記 ◆

村内3小学校で卒業式



松田小学校



宜野座小学校

3月19日、村内3小学校において、卒業式が開催されました。

式典では、卒業生から6年間お世話になった先生方や保護者へ感謝の気持ちが伝えられました。

今年度の卒業生の人数は次のとおりです。

【松田小学校】 男子12名 女子7名

【宜野座小学校】 男子16名 女子16名

【漢那小学校】 男子11名 女子9名



漢那小学校

ステキなステキなお話会

3月13日、宜野座高校ボランティア部によるステキなステキなお話会が村文化センター図書館で行われました。

宜野座高校ボランティア部は、総勢130名ほどが所属しており、村内イベントなどでボランティアを行っています。

読み聞かせを行った部員の仲本あいさんは「緊張したけど子ども達が楽しそうに聞いてくれて嬉しかった」と話しました。



子ども達へ読み聞かせを行う宜野座高校ボランティア部



優勝した惣慶ヤンキース

惣慶ヤンキース優勝

3月21日、かりゆしホテルズボールパーク宜野座で北部南ブロック大会が開催されました。

準決勝では、同村の漢那イーグルスと対戦し10-0で勝ち上がると、勢いをそのままに金武ビクトリーキッズとの決勝戦を12-11で競り勝ち見事優勝を勝ち取りました。

★打撃賞：翁 長 将

★殊勲賞：多嘉山 太雅